2026 年
8 月 31 日
NO.65

全国 OB 会ニュース

日本貨物鉄道労働組合
全国 OB 会
発行人　伊藤　憲治

憲法９条改悪反対！改憲阻止！
沖縄の仲間と共に平和な暮らしと社会をつくる
8. 23集会

８月２３日、猛暑が続く中、ＪＲ総連・９条連主催の「憲法９条改悪反対！改憲阻止！沖縄の仲間と共に平和な暮らしと社会をつくる８．２３集会」が、５００名（リモート参加含む）が結集する中で開催されました。

集会は、オープニングビデオが上映されたのち、ＪＲ総連鵜野副委員長の司会で進められました。

主催者挨拶は、ＪＲ総連執行委員長　佐藤英樹さんと９条連事務局　石塚聡さんが行ないました。

佐藤委員長は、「憲法第１３条の『すべての国民は尊重される』ことと憲法第１４条の『法の下での平等』を上げて日本国憲法がいかに優れているか」そして、「戦後８１年、日本で戦争が起こらなかったのは”憲法９条“があったからである。」と憲法９条改悪阻止を強く訴えていました。

連帯あいさつは、参議院議員　小西洋之氏（ＪＲ総連議員懇談会）が立憲民主党を代表して参加され、現在の政治情勢について話されました。

続いて、沖縄県知事である玉城デニー氏からビデオメッセージが送られ沖縄が置かれている現状を赤裸々に伝えていれました。

引き続き行われた、パネルディスカッションでは、参議院議員小西洋之氏から、参議院憲法審査会における議論、「日本国憲法の改正手続に関する法律の一部を改正する法律案」（国民投票法改正案）の附帯決議に

かけた思いや、憲法９条へ自衛隊明記は憲法９条をなし崩しにするものと訴えていました。沖縄９条連事務局長宮城和之氏は、辺野古基地建設や間近に迫る沖縄県知事選の沖縄のたたかいについて報告されました。

　また、ＪＲ総連５連協の仲間からは、沖縄・松代・横須賀の平和研修を通うじた平和の大切さ、特に沖縄戦が日本で唯一地上戦となり、多くの犠牲者を出してでも沖縄戦を長引かせ、本土決戦に備える準備を松代で進められていた事実を赤裸々に報告されていました。

　全国ＯＢ会として在京を中心に５名の仲間で参加し、憲法９条は私たち平和を希求する者の最後の砦であることを自覚し、今後も憲法改悪阻止に向けて奮闘することを誓いました。

憲法改悪阻止！

憲法改正国民投票では「反対に○」を徹底しよう！